

# 富山情報ビジネス専門学校 学 則

## 第1章 総 則

### 第1条（目的）

本校は、建学の精神に（別表1）に則り、高潔な人間性を基礎とする豊かな教養と専門知識の修得に努め、変転する社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

### 第2条（名称）

本校は、富山情報ビジネス専門学校と呼称する。

### 第3条（所在地）

本校の所在地は富山県射水市三ヶ 576 番地とする。

### 第4条（自己点検・評価）

1. 本校は、その教育における一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。
2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第2章 課 程 及 び 定 員

### 第5条（課程、学科、修業年限、定員等）

本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課 程 名	学 科 名	コ ー ス 名	修 業 年 限	入 学 定 員	総 定 員	昼 夜 の 別	備 考
工業専門課程	高度情報システム		4年	0人	20人	昼間	募集停止
	情報システム		2年	30人	60人	昼間	
商業実務 専門課程	モバイルビジネス		2年	20人	40人	昼間	
	ホテル・ブライダル		2年	30人	60人	昼間	
	医療事務		2年	30人	60人	昼間	
	診療情報管理研究		1年	20人	20人	昼間	学科名変更
	インターナショナルビジネス		2年	20人	40人	昼間	
文化・教養 専門課程	日 本 語	1年課程	1年	20人	20人	昼間	
		1年半課程	1.5年	15人	30人	昼間	
		2年課程	2年	35人	70人	昼間	

### 第3章 学年・学期および休日

#### 第6条（在籍年限）

各学科・各コースにおける在籍年限は前条の修業年限の倍を越えることはできない。  
但し、日本語学科の在籍年限は修業年限とする。

#### 第7条（学年）

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。  
但し、日本語学科1年半課程においては、1年次は10月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第8条（学期）

学年を分けて次の2学期とする。  
前期：4月1日から8月31日まで  
後期：9月1日から3月31日まで  
但し、日本語学科においては、  
前期：4月1日から9月30日まで  
後期：10月1日から3月31日まで  
とする。

#### 第9条（休日）

休日は次のとおりとする。  
1. 日曜日および国民の祝日  
2. 春期休暇：3月中旬から授業、学校行事等を勘案して校長が決定する  
3. 夏期休暇：7月下旬から前項に準じて決定する  
4. 冬期休暇：12月上旬から前々項に準じて決定する

### 第4章 学科課程・授業日数および卒業

#### 第10条（履修課程）

本校の学科課程およびその履修科目ならびに付与する単位は別表2に定める。

#### 第11条（履修方法）

1. 本校における各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により単位数を計算するものとする。
  - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。
2. 本校の1年間の授業日数は定期試験（前学期末および後学期末）等の日数を含め、30週にわたる150日を原則とする。但し、日本語学科は前期18週、後期18週で36週（180日）とする。
3. 各授業科目の授業は15週にわたる期間を単位として行う。  
但し、教育課程上特別の必要があると認められる場合は、一部変更することがある。

#### 第12条（評価と単位認定）

1. 各授業科目の単位評価は100点満点とし、90点以上をA、80点以上をB、70点以上をC、60点以上をDとして単位を認定する。  
60点未満をFとして単位を認定しない。採点にあたっては総合テスト、授業姿勢、課題・小テストなどの内容を考慮する。
2. 欠席時数が講義時数の20%を超える場合は当該科目を不認定とする。
3. 教育上有益と認めるときは、以下の内容を課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で、本校の履修科目として認定する。また、本校学生が入学前に、行った以下の内容でも、同等の扱いとする。
  - ①他の大学、短期大学または専門学校、その他教育機関との協議により履修した、当該大学等の

授業科目。

- ②専門課程に相当する教育を行っている外国の教育施設における学習成果。
- ③認定社会通信教育、遠隔授業、技能審査、ボランティア、インターンシップ等。

#### 第13条（追試験）

病気、就職選考、忌引、その他やむを得ない事由により受験しえなかった者は、試験終了後5日以内に事由を詳細に記し、証明資料を添えて校長あて追試験の許可を願い出ることができる。

#### 第14条（追試験の実施）

学期末試験の追試験の実施は、1学期に1回行う。

#### 第15条（受験心得）

学期末および卒業試験受験の心得

1. 不正行為を発見した時は退場を命じ採点は0点とする。
2. テキスト、ノート、参考書等の持ち込みの可否は授業毎に指示する。

#### 第16条（進級）

以下の学科において、進級に必要な単位数以上を取得した者および進級に必要な時間数以上を履修した者は、1年から2年に進級することができる。

学科名・コース名		進級に必要な単位数および時間数
情報システム学科		34 単位
モバイルビジネス学科		34 単位
ホテル・ブライダル学科		38 単位
医療事務学科		34 単位
インターナショナルビジネス学科		34 単位
日本語学科	2年課程	800 時間
	1年半課程	400 時間

#### 第17条（卒業）

日本語学科以外の学科において、GPA（評定平均値）2.0以上で、以下の各学科の卒業に必要な単位数以上を取得し、卒業必修科目を認定されている者は卒業することができる。

日本語学科において、以下の卒業に必要な時間数以上を履修した者は、卒業することができる。

（但し、GPA算出方法は、第12条A=4、B=3、C=2、D=1、F=0とし、この数字に科目の単位数を乗じたものを合計して総単位数で叙したものとする。）

学科名		卒業に必要な単位数および時間数
情報システム学科		65 単位
モバイルビジネス学科		67 単位
ホテル・ブライダル学科		64 単位
医療事務学科		69 単位
診療情報管理士研究科		31 単位
インターナショナルビジネス学科		71 単位
日本語学科	1年課程	800 時間
	1年半課程	1200 時間
	2年課程	1600 時間

#### 第18条（留年）

進級または卒業できないものは留年とする。留年となった者は、進級、卒業に必要な不足単位について再履修するものとする。

第19条（卒業証書の授与・称号の授与）

1. 本校所定の課程を修了したと認められる者に対し卒業証書を授与する。
2. 以下の学科を卒業した者には専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
工業専門課程	情報システム学科
商業実務専門課程	モバイルビジネス学科 ホテル・ブライダル学科 医療事務学科 インターナショナルビジネス学科

3. 以下の学科を卒業した者には、高度専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
工業専門課程	高度情報システム学科

## 第5章 入学・休学および退学

第20条（入学資格）

本校の入学試験受験資格は次のとおりとする。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。
2. 日本語学科においては、上記第1項に加えて日本語の学習経験がある者とする。

第21条（出願手続）

入学志願者は所定の願書および必要書類に受験料20,000円を添えて出願手続をしなければならない。

第22条（入学者の選考）

前条の出願手続を終了した入学志願者については、本校募集要項の定めるところにより、入学選考を行う。

第23条（入学許可ならびに手続）

1. 入学選考合格者は、所定の期日までに保証人を定め、別表3-1の当該学科の学費を納入して入学手続を完了しなければならない。  
学費とは、入学金・授業料・施設設備費・演習充実費とする。但し、日本語学科においては、入学金・授業料とする。  
日本語学科においては、学費と併せ、諸経費を納入しなければならない。
2. 4月入学生においては、入学年度の前年度3月31日までに入学を辞退した場合は、納入された学費のうち、入学金以外を返金する。日本語学科1年半課程の10月入学生においては、入学年度の9月30日までに入学辞退の場合は、入学金以外を返金する。
3. 保証人は、本人の在学中の学費、生活、勉学、素行のすべてに責任を負うものとし、本人の保護者またはそれに代わるべき人でなければならない。
4. 保証人が死亡または前項の要件を欠いたときは直ちに保証人の変更を届けなければならない。

第24条（休学）

1. 学生が病気その他、本校が認めるやむをえない事情のため、前期又は後期の全期間にわたり修学することができないときはこれを証明する書類を添えて保証人連署の上、休学を届け出なければならない。但し、休学期間は原則として連続2年を越えることはできない。
2. 休学者は、休学した学期の試験を受けることはできない。
3. 休学中の「学期」の学費（入学金を除く）については納付を免除する。但し、既に納付済の場合は返還しない。
4. 休学者が復学を希望する場合は復学願いを提出しなければならない。復学する場合は原級に復するものとし、当該「学期」の学費（入学金を除く）を納付しなければならない。

#### 第 25 条 (退学・転科・転学)

1. 退学しようとする場合は、保証人連署の上、退学届を提出し、許可を受けなければならない。
2. 退学した者で、3年以内に再入学を願い出た者に対しては、在学時の成績を考慮し、審査を経てこれを許可することがある。  
この場合、退学以前の在学期間および修得科目は所定の在学年限および修得科目にそれぞれ算入する。
3. 本校の学生が学内の転科を希望するときは、審査を経てこれを許可することがある。
4. 他の大学、短期大学、専門学校から本校に転入学を希望する者があるときは、選考の上これを認めることがある。  
既修得単位の認定は、学則第 12 条第 3 項に基づくものとする。
5. 本校から他の専門学校へ転学しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

#### 第 26 条 (除籍)

学生が次の各号に該当する場合は除籍される。

1. 病気その他の理由で学業の継続が不可能と認められたとき。
2. 延納・分納の届けが無く、学費を納入しないとき。
3. 学生が死亡したとき。

### 第 6 章 教 職 員

#### 第 27 条 (教職員)

1. 本校には次の教職員を置く。  
校 長  
専任教員  
講 師  
事務職員  
教務職員  
校 医  
校 務 員
2. 教員の定員、資格は専修学校設置基準による。
3. 校長は校務を総括し、所属教職員を監督する。
4. 校長を除く教職員は校務を分担する。

### 第 7 章 学 費 等

#### 第 28 条 (学費)

本校の受験料は入学願書提出時に納付する。また、学費は別表 (3-1) のとおりとする。

#### 第 29 条 (学費の納入)

1. 学費は所定の期日までに納入しなければならない。
2. 学費を所定の期日までに納入できないやむをえない事情があるときは、延納・分納を認めることがある。
3. 既に納入された学費は、第 23 条第 2 項に該当する場合以外は返金しない。  
ただし、明らかに重複または超過納入になった場合やその他校長が必要と認めた場合にはこの限りではない

### 第 8 章 聴講生および外国人留学生

#### 第 30 条 (聴講生)

1. 本校専門課程の学科目の聴講を希望する者に対しては、收容人員に余裕がある場合に限り、聴講生として聴講を許可する。また、必要と認めるときは、その履修科目に対して単位を与えることができる。
2. 聴講生料は別表 (3-2) のとおりとする。

3. 学則第 20 条の入学資格を有する外国人で、留学を希望する者は、選考の上受け入れることがある。

## 第 9 章 懲 戒

### 第 31 条 (懲戒)

次の各号の 1 に該当する学生に対しては、学校長がこれを懲戒する。

1. 性行不良で改悛の見込みがないと認められる者
2. 修学努力が著しく不足していると認められる者
3. 正当な理由なくして出席が常でない者
4. 学内の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者

### 第 32 条 (懲戒の種類)

懲戒はその行為の軽重に従い、訓戒、停学および退学の 3 種類とする。

## 第 10 章 奨 学 生

### 第 33 条 (奨学生)

本校学生で、学業、人物、健康とも優れた者を奨学生として援助する。

## 第 11 章 健 康 診 断

### 第 34 条 (健康診断)

本校学生に年 1 回健康診断を実施する。

## 第 12 章 附 帯 教 育

### 第 35 条 (附帯教育)

必要がある時は、国際交流、生涯学習教育等の附帯教育を行う。また、附帯教育の科目、単位及び受講料は別に定める。

### 附 則

この学則は、平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

### 附 則

1. この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 19 条及び第 28 条の改正規定は、富山県知事への届出が受理された日（平成 9 年 3 月 21 日届出受理）から施行する。
2. 第 19 条の改正規定の施行の際、現に国際マーケティング学科及び経営学科に籍を有する学生については、改正後の第 19 条にかかわらず、なお従前の例による。

### 附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日より施行する。

### 附 則

この学則は、平成 11 年 3 月 1 日より施行する。

### 附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条、第 19 条改訂規定の施行の際は、平成 12 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

### 附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 13 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

### 附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 3 月 15 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 15 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は平成 15 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 3 月 13 日より施行する。

附 則

この学則は平成 17 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 17 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

また、第 29 条改定規定の施行に関しては、平成 16 年 10 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は平成 18 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・27 条改定規定の施行に関しては、平成 18 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は平成 19 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 10 条・第 16 条・第 17 条・第 27 条改定規定の施行に関しては、平成 19 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

また、第 3 条、第 8 条、第 9 条に関しては、学則受理の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日（平成 19 年 10 月 22 日）より施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 16 条・第 17 条・第 19 条改定規定の施行に関しては、平成 21 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 10 条、第 16 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する

但し、第 10 条改定規定の施行に関しては、平成 23 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 8 条、第 16 条及び第 17 条の改定規定の施行に関しては、平成 24 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 17 条、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 25 条、第 27 条、第 28 条の改定規定の施行に関しては、平成 25 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 11 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 26 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 28 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 16 条、第 17 条の改定規程の施行に関しては、平成 30 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、平成 31 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、平成 31 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 12 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 25 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 2 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 11 条、第 19 条、第 29 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 12 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 3 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。



別表（1）

## 建 学 の 精 神

- 1 質実にして明朗な人格形成
- 1 専門的な学問とその応用を通して  
社会に貢献する人格形成

専門・一般		令和3年度 工業専門課程 (情報システム学科)										授業方法		
		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技
					必修	選択必修	自由選択							
専門	コンピュータ知識	1	前期	専門	○		コンピュータ概論 I A	コンピュータの構造・原理・周辺機器の理解・コンピュータシステムに関する基礎知識の理解・ネットワークシステム・データベースシステムに関する基礎知識を理解する。	60	4	○			
		1	前期	専門	○		システム開発と情報化 I A	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ストラテジ分野の知識を中心に学ぶ。	60	4	○			
		1	後期	専門	○		システム開発と情報化 I B	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ストラテジ分野の知識を中心に学ぶ。	30	2	○			
		1	前期	専門	○		アルゴリズムとデータ構造 I A	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することによって論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○			
		1	後期	専門	○		アルゴリズム演習 I A	コンピュータアルゴリズムの理解と習得のため、演習を中心とした基本情報技術者試験の午後問題対策を行う。	30	1		○		
		1	前期	専門	○		情報システム概論 I A	システム開発、クラウドシステム開発、ロボット・IoTシステム開発の経験を目指す。	30	1		○		
	情報処理技術者試験資格取得	1	前期	専門	○		情報処理演習 I A	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	30	1		○		
		1	後期	専門	○		情報処理演習 I B	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	30	1		○		
		1	後期	専門	○		情報処理演習 I C	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	30	1		○		
		1	前期	専門	○		選択言語演習 I A	基本情報午後試験の言語選択問題対策として、「表計算」を学ぶ。演習を中心にExcelおよびアプリケーション活用言語VBAを学ぶ。	60	2		○		
		1	後期	専門	○		選択言語演習 I B	基本情報午後試験の言語選択問題対策として、「表計算」を学ぶ。演習を中心にExcelおよびアプリケーション活用言語VBAを学ぶ。後期は擬似言語とマクロ演習を行う。	30	1		○		
	プログラミング言語習得	1	前期	専門	○		VB基礎 I A	Visual Basicを使ったプログラミングを通して、プログラミング言語の基礎知識を習得し、オブジェクト指向プログラミングの基礎的理解を目指す。	60	2		○		
		1	後期	専門	○		Java基礎 I A	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	60	2		○		
		1	後期	専門	○		Web演習 I A	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
		2	前期	専門	○		Web演習 II A	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
	データベース管理基礎技術習得	1	前期	専門	○		DB入門 I A	情報処理試験におけるSQL問題およびデータベース分野の苦手意識を克服し、試験合格、さらには実戦で使えるSQL習得を目指す。	30	1		○		
		1	後期	専門	○		DB入門 I B	情報処理試験におけるSQL問題およびデータベース分野の苦手意識を克服し、試験合格、さらには実戦で使えるSQL習得を目指す。	30	1		○		
	ネットワーク設定基礎技術習得	2	前期	専門	○		ネットワーク演習 II A	一般的に会社で利用されているWindowsネットワーク基礎知識に関して、実習を通して学習する。	30	1		○		
		2	後期	専門	○		ネットワーク演習 II B	前期に学んだWindowsネットワーク基礎知識を基に、WindowsOS上でのWebサーバやEメールサーバなどの仕組みを実習を通して学習する。	60	2		○		
	セキュリティ対策基礎技術習得	2	前期	専門	○		情報セキュリティ基礎 II A	計算機ネットワークを含めた計算機利用の安全性に関する授業。	30	2	○			
	開発業務実践	2	前期	専門	○		技術発表演習 II A	様々なビジネスシーンに必要なパソコンを利用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。	30	1		○		
総合演習	1	通年	専門	○		総合演習 I A	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	60	2		○			
プログラミング専攻	1	後期	専門	○		プログラミング演習 I A	簡単なゲームの作成を通して、アルゴリズムを作成しプログラミングできることを目指す。自ら調査研究、試行錯誤しながら課題を完成まで導く過程を演習を通して学ぶ。	30	1		○			
	2	前期	専門	○		Java応用 II A	Java基礎で学んだ知識を使って、実践的なシステム開発を行うための演習を行う。	60	2		○			
	2	前期	専門	○		プログラム開発技法 II A	統合開発環境を利用して、SQL Serverを使用したデータベースのシステムを構築し、データベースシステム開発手法を学習します。	60	2		○			
	2	前期	専門	○		システム開発技法 II A	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○			
	2	後期	専門	○		システムPBL II A	システム開発をグループで行う。	120	4		○			
	2	後期	専門	○		システムPBL II B	システム開発をグループで行う。	120	4		○			
	2	後期	専門	○		システムPBL II C	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○			
ゲームクリエイタ専攻	1	前期	専門	○		ゲーム概論 I A	ビデオゲーム(テレビゲーム)の歴史を中心に学習します。現在のビデオゲームでは、当たり前のように実装されている機能が、どのような過程で取捨選択されたのかを探ります。また、ビデオゲームの知的財産権(著作権、特許権、商標権など)との関わりについて学習します。	30	2	○				
	1	前期	専門	○		作品評価 I A	商品として販売されているゲームを様々な角度から評価することで、作り手としての目を養い、各自が制作する作品の参考にします。	30	1		○			
	1	後期	専門	○		ゲーム制作理論 I A	企画・仕様・設計やゲームバランスについて、三角関数のゲームへの応用、追跡アルゴリズム、デバッグ手法など、ゲームを作成する上で必要となる処理を必要に応じて利用しゲームの作成に使うことができるようになります。	30	2	○				
	1	前期	専門	○		C#講義 I A	C#を用いて基本制御構造、メソッド、クラス、スコープの概念とプログラミングにあたっての考え方を学習します。	60	2		○			
	1	前期	専門	○		C#演習 I A	C#を用いてコードを書き、基本制御構造、メソッド、クラス、スコープを理解するために訓練します。	90	3		○			
	1	後期	専門	○		C#演習 I B	C#においてオブジェクト指向プログラミングについて、掘り下げて学習します。また、オブジェクト指向プログラミングで簡単なゲームを制作します。	120	4		○			
	2	前期	専門	○		ゲームJava II A	Javaによるアプレット用ゲームスケルトンとアプレット用ゲームライブラリを提供します。ゲームスケルトンにはアプレットに必要な基礎項目がすべて盛り込まれています。ゲームライブラリを使用して、ゲーム制作に必要なJavaのクラスライブラリを学習します。	30	1		○			
	2	後期	専門	○		ゲームJava II B	Java言語の応用課題として、スマートフォンやタブレットでのゲーム制作方法を学習します。	30	1		○			
	1	後期	専門	○		ゲームアルゴリズムとデータ構造 I A	今まで学習したプログラミング技術を用いて問題解決を行い、就職後の学習が円滑になるように訓練します。	30	2	○				
	1	前期	専門	○		Unity I A	Unityの基本操作とC#の基礎を学習します。主にC#のプログラミングの学習に重点を置き、簡単なゲームプログラミングまでの技術の修得を目指します。	60	2		○			
	1	後期	専門	○		Unity I B	Unityを用いてゲーム制作を学習します。また、CGツールで作成したモデルデータの使用方法も学習します。携帯端末やVR機器のプログラミングを個別学習するときに、必要な基礎操作を学習します。	60	2		○			

	2	前期	専門	○	3DプログラミングⅡA	3Dゲームの基礎である空間把握、行列演算による座標変換、カメラの制御、ライティングなどを学習します。	30	1		○	
	2	後期	専門	○	3DプログラミングⅡB	シェーダーの概念から、初歩的なシェーダープログラミングを学習します。	30	1		○	
	2	前期	専門	○	ゲームプログラミングⅡA	Unityを用いてスマホ上で動作するゲームの基礎を学習します。プログラムの実行環境の扱い方、描画などにおける座標の概念、ゲームに特化した入力概念、画像の扱いなどを学びます。また迷路ゲームなど単純なルールを用いたゲームの作成も行います。	60	2		○	
	2	後期	専門	○	ゲームプログラミングⅡB	Unityを用いてスマホ上で動作するゲームの構造を学習します。ゲームの特有的な機能を題材とし、複数の小規模なプログラムを段階的に学習することでゲームの構造・構築方法を学びます。	60	2		○	
	1	前期	専門	○	ゲームプランニングⅠA	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。そして、チームにてオリジナルゲームの企画、仕様書作成を行います。	30	1		○	
	1	前期	専門	○	CGⅠA	2D ゲームに必要なグラフィック素材を制作しながら、グラフィックツールの操作方法を学習します。また、学生各自が制作するゲームの素材を制作します。	30	1		○	
	1	後期	専門	○	CGⅠB	3Dゲームのグラフィックの制作法を学習し、プログラミングの授業で使われるオブジェクトの作成を行います。それとともに、ゲーム会社で働く際にプログラマーとしても必要なグラフィックの知識、ゲームを制作してゆく上でのデザイナーとの連携のしかたなども学びます。	30	1		○	
	1	前期	専門	○	ネットワーク概論ⅠA	ネットワークの目的や、ネットワークの種類と特徴、ネットワークの伝送制御技術、LAN・WAN等の概要を学び、ネットワークとインターネットの基礎知識を身に付けます。基本情報処理試験の問題を解答できるレベルを目指します。	30	2		○	
	1	前期	専門	○	コンピュータ基礎ⅠA	情報処理技術者能力認定試験 3級の試験対策を行います。また、コンピュータ全般（ハードウェア、ソフトウェア）の知識修得も行います。	30	2		○	
	1	後期	専門	○	コンピュータ基礎ⅠB	情報処理技術者能力認定試験 2級の試験対策を行います。また、コンピュータ全般（ハードウェア、ソフトウェア）の知識修得を行います。	30	2		○	
	2	前期	専門	○	UnityⅡA	Unity上で動作する複雑なゲームの構造を学習します。高度な制御を求められるアクションゲームや、アドベンチャーゲーム・ロールプレイングゲームなどを作成するのに必要となるイベント処理についても学習することで、本格的なゲームを作るのに必要な技術を学習します。	150	5		○	
	2	前期	専門	○	ゲーム制作理論ⅡA	最短経路探索、迷路の解、ナイツツアー、数独、魔方陣パズルなどのテーブルゲーム作成手順、さらにそれらのパズルの解法処理を作成し、アルゴリズムの修得し応用ができるようになります。また状態遷移、暗号処理、などゲームを作成する上での技術を習得します。	30	2		○	
	2	後期	専門	○	サウンドⅡA	ゲームのBGMや効果音の制作をおこないます	60	2		○	
	2	前期	専門	○	情報セキュリティ基礎ⅡA	計算機ネットワークを含めた計算機利用の安全性に関する授業。	30	2		○	
	2	後期	専門	○	卒業制作ⅡA	チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。各自ゲームの各要素、自機、ステージ管理、敵全般、攻撃処理、判定などのプログラム毎に作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○	
	2	後期	専門	○	卒業制作ⅡB	チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。各自ゲームの各要素、自機、ステージ管理、敵全般、攻撃処理、判定などのプログラム毎に作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○	
ロボット・IoT専攻	1	後期	専門	○	ロボット・IoT基礎ⅠA	ロボットにおけるセンサー、サーボモーターの制御を習得する。IoT関連の知識と活用法を身に付ける。	30	1		○	
	2	前期	専門	○	Python基礎ⅡA	制御系開発言語の主流となったPython言語の特徴を理解し、Pythonプログラム演習を通して学習する。	60	2		○	
	2	前期	専門	○	IoT基礎演習ⅡA	IoTに必要なセンサー、マイコン及び通信を使用するための知識と実際の使用方法を習得する。	60	2		○	
	2	前期	専門	○	IoT応用演習ⅡA	現場で実際にセンサーを取り付け、データ収集からデータ分析までの一連の作業を行うことによりIoT実践能力を習得する。	60	2		○	
	2	後期	専門	○	ロボット・IoT-PBLⅡA	ロボット・IoTを活用した、システム開発をグループで行う。	120	4		○	
	2	後期	専門	○	ロボット・IoT-PBLⅡB	ロボット・IoTを活用した、システム開発をグループで行う。	120	4		○	
	2	後期	専門	○	ロボット・IoT-PBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○	
クラウド専攻	1	後期	専門	○	クラウド基礎演習ⅠA	クラウド利用に必要な知識と活用法を習得する。	30	1		○	
	2	前期	専門	○	クラウド応用演習ⅡA	クラウド上での様々なアーキテクチャの構築を様々なケーススタディやラボ演習を通して習得する。	120	4		○	
	2	前期	専門	○	クラウドシステム開発ⅡA	クラウド上に要求に応じたシステム構築を通して、クラウドの実践力を習得する。	60	2		○	
	2	後期	専門	○	クラウドPBLⅡA	クラウドシステム開発をグループで行う。	120	4		○	
	2	後期	専門	○	クラウドPBLⅡB	クラウドシステム開発をグループで行う。	120	4		○	
	2	後期	専門	○	クラウドPBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○	
全専攻共通	1	後期	専門	○	データベース演習ⅠA	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	30	1		○	
	2	前期	専門	○	データベース演習ⅡA	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	60	2		○	
	2	前期	専門	○	サーバプログラミングⅡA	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。	30	1		○	
	2	後期	専門	○	サーバプログラミングⅡB	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。	30	1		○	
	1	後期	専門	○	インターンシップⅠA	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身に付ける。	45	1			○
	2	後期	専門	○	異文化理解ⅡA	文化や価値観の違う多様化社会に対応していくため、ITを利用した課題解決を留学生と交流しながら身につけていく。	30	1		○	
一般	1	後期	一般	○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
	2	後期	一般	○	表現力ⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
	1	前期	一般	○	NIBⅠA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
	2	前期	一般	○	NIBⅡA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
	1	前期	一般	○	ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身に付ける。	30	1		○	
	1	後期	一般	○	キャリア支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2		○	
	2	前期	一般	○	キャリア支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2		○	

2	後期	一般		○	キャリア支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○	
1	前期	一般		○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
1	後期	一般		○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
2	前期	一般		○	データマーケティングⅡA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		○
合計						- 科目	1935 単位時間	75	単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等		
卒業要件	履修方法	1学年の学期区分	2	期
卒業要件： 65単位取得	GPA 2.0以上 必修科目を取得していること	1 学期の授業期間	15	週
選択必修科目「コンピュータ概論ⅠA」「システム開発と情報化ⅠA」「システム開発と情報化ⅠB」「アルゴリズムとデータ構造ⅠA」「アルゴリズム演習ⅠA」「情報システム概論ⅠA」「VB基礎ⅠA」「Java基礎ⅠA」「DB入門ⅠA」「DB入門ⅠB」「ネットワーク演習ⅡA」「ネットワーク演習ⅡB」「情報セキュリティ基礎ⅡA」「プログラミング演習ⅠA」「Java応用ⅡA」「プログラム開発技法ⅡA」「システム開発技法ⅡA」「システムPBLⅡA」「システムPBLⅡB」「システムPBLⅡC」 または「ゲーム概論ⅠA」「作品評価ⅠA」「ゲーム制作理論ⅠA」「C#講義ⅠA」「C#演習ⅠA」「C#演習ⅠB」「ゲームJavaⅡA」「ゲームJavaⅡB」「ゲームアルゴリズムとデータ構造ⅠA」「UnityⅠA」「UnityⅠB」「3DプログラミングⅡA」「3DプログラミングⅡB」「ゲームプログラミングⅡA」「ゲームプログラミングⅡB」「ゲームプランニングⅠA」「CGⅠA」「CGⅠB」「ネットワーク概論ⅠA」「コンピュータ基礎ⅠA」「コンピュータ基礎ⅠB」「UnityⅡA」「ゲーム制作理論ⅡA」「サウンドⅡA」「情報セキュリティ基礎ⅡA」「卒業制作ⅡA」「卒業制作ⅡB」または「コンピュータ概論ⅠA」「システム開発と情報化ⅠA」「システム開発と情報化ⅠB」「アルゴリズムとデータ構造ⅠA」「アルゴリズム演習ⅠA」「情報システム概論ⅠA」「VB基礎ⅠA」「Java基礎ⅠA」「DB入門ⅠA」「DB入門ⅠB」「ネットワーク演習ⅡA」「ネットワーク演習ⅡB」「情報セキュリティ基礎ⅡA」「ロボット・IoT基礎ⅠA」「Python基礎ⅡA」「IoT基礎演習ⅡA」「IoT応用演習ⅡA」「ロボット・IoT-PBLⅡA」「ロボット・IoT-PBLⅡB」「ロボット・IoT-PBLⅡC」 または「コンピュータ概論ⅠA」「システム開発と情報化ⅠA」「システム開発と情報化ⅠB」「アルゴリズムとデータ構造ⅠA」「アルゴリズム演習ⅠA」「情報システム概論ⅠA」「VB基礎ⅠA」「Java基礎ⅠA」「DB入門ⅠA」「DB入門ⅠB」「ネットワーク演習ⅡA」「ネットワーク演習ⅡB」「情報セキュリティ基礎ⅡA」「クラウド基礎演習ⅠA」「クラウド応用演習ⅡA」「クラウドシステム開発ⅡA」「クラウドPBLⅡA」「クラウドPBLⅡB」「クラウドPBLⅡC」のいずれかを取得していること。				

## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和 3年度 商業実務専門課程 (モバイルビジネス学科)													
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	IT活用の知識とセキュリティスキル	1	前期	専門	○		IT知識論ⅠA	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	90	6	○		
		1	後期	専門	○		IT知識論ⅠB	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティといった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	90	6	○		
	EUDスキル	1	前期	専門	○		カラーコーディネートⅠA	色彩理論の基本を理解する。また、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
		1	後期	専門	○		カラーコーディネートⅠB	色彩理論の基本を理解する。また、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
		1	前期	専門	○		ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		1	後期	専門	○		ビジネスIT技術ⅠB	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	専門	○		ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		2	後期	専門	○		ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		2	前期	専門	○		ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		2	後期	専門	○		ICT活用ⅡB	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		1	前期	専門	○		グラフィックデザインⅠA	専用ソフトウェアを使い、仕事で扱う様々な画像の処理方法を学ぶ。	90	3		○	
		1	後期	専門	○		グラフィックデザインⅠB	専用ソフトウェアを使い、仕事で扱う様々な画像の処理方法を学ぶ。	90	3		○	
		2	前期	専門	○		グラフィックデザインⅡA	専用ソフトウェアを使い、ベーシックデザイン、ビジネスデザインについて学ぶ。	60	2		○	
		2	後期	専門	○		グラフィックデザインⅡB	専用ソフトウェアを使い、ベーシックデザイン、ビジネスデザインについて学ぶ。	60	2		○	
		1	前期	専門	○		Web演習ⅠA	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○	
		1	後期	専門	○		Web演習ⅠB	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○	
		2	前期	専門	○		Web演習ⅡA	各種ビジネスを想定したWebサイト、モバイルサイト作成を行う。	60	2		○	
		2	後期	専門	○		Web演習ⅡB	各種ビジネスを想定したWebサイト、モバイルサイト作成を行う。	60	2		○	
		2	前期	専門	○		モバイルコンテンツⅡA	JQueryMobileをテーマにモバイルサイト構築を行う。	30	1		○	
		2	後期	専門	○		モバイルコンテンツⅡB	JQueryMobileをテーマにモバイルサイト構築を行う。	30	1		○	
		1	前期	専門	○		動画コンテンツ基礎ⅠA	様々な機器による撮影と編集技術を学ぶ。	60	2		○	
		1	後期	専門	○		動画コンテンツ基礎ⅠB	様々な機器による撮影と編集技術を学ぶ。	60	2		○	
	2	前期	専門	○		動画コンテンツ応用ⅡA	目的に合わせた映像を作成し、有効利用する技術を学ぶ。	60	2		○		
	2	後期	専門	○		動画コンテンツ応用ⅡB	目的に合わせた映像を作成し、有効利用する技術を学ぶ。	60	2		○		
	SNS活用スキル	2	前期	専門	○		モバイルマーケティングⅡA	各種モバイルを使用したビジネス展開の現状と今後について学ぶ。	30	2	○		
		2	前期	専門	○		プランニングⅡA	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための提案と実践をおこなう。	30	1		○	
		2	後期	専門	○		プランニングⅡB	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための提案と実践をおこなう。	30	1		○	
		2	前期	専門	○		国際コミュニケーションⅡA	グローバルな時代において、外国人とのコミュニケーションについてITの活用を検討し、実践する。	30	1		○	
	職業人スキル インターンシップ 総合演習	1	後期	専門	○		インターンシップⅠA	授業での学びを活かし、ビジネス現場での業務体験を行う。	45	1			○
		1	後期	専門	○		キャリア支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
		2	前期	専門	○		キャリア支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
		2	後期	専門	○		キャリア支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
		1	前期	専門	○		データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		1	後期	専門	○		データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		2	前期	専門	○		データマーケティングⅡA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門	○		総合演習ⅠA	様々な科目に共通した知識やスキルを活かし、調査、企画、実践活動を行う。	30	1		○	
		1	後期	専門	○		総合演習ⅠB	様々な科目に共通した知識やスキルを活かし、調査、企画、実践活動を行う。	30	1		○	
		2	前期	専門	○		総合演習ⅡA	様々な科目に共通した知識やスキルを活かし、調査、企画、実践活動を行う。	60	2		○	
	2	後期	専門	○		総合演習ⅡB	様々な科目に共通した知識やスキルを活かし、調査、企画、実践活動を行う。	60	2		○		

一般	意欲	1	前期	専門		○ NIB1A	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける	30	1		○	
		1	後期	専門		○ 表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
		2	前期	専門		○ NIBⅡA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼンカ、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける	30	1		○	
		2	後期	専門		○ 表現力ⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
合計							43 科目	1965 単位時間	75 単位)			
卒業要件及び履修方法								授業期間等				
卒業要件： 67単位取得 GPA2.0以上 必修科目を取得していること								1 学年の学期区分		2 期		
								1 学期の授業期間		15 週		



## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

		令和3年度 商業実務専門課程 (ホテル・ブライダル学科)												
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	専門	○			FB実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		1	後期	専門	○			FB実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		2	前期	専門	○			FB実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
インバウンド対応のできる英語力を習得する	1	前期	専門	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○		
	1	前期	専門	○			TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○		
	1	前期	専門	○			TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○		
	1	後期	専門	○			TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○		
	1	後期	専門	○			TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○		
	2	前期	専門	○			TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○		
	2	前期	専門	○			TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○		
サービス業に求められる知識と技能を習得する	1	前期	専門	○			サービス接客ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	1	後期	専門	○			サービス接客ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	2	前期	専門	○			サービス接客ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○		
	2	前期	専門	○			フラワーアレンジメントⅡA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○		
	1	前期	専門	○			ブライダルビューティⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ブライダルビューティⅠB	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ICT活用ⅠB	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○		
	2	前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○		
	1	前期	専門	○			ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身に付ける。	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身に付ける。	30	1		○		
	1	前期	専門	○			異文化コミュニケーションⅠA	インバウンド対応に必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を目的とする	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○		
	2	前期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○		
	1	前期	専門	○			富山学ⅠA	富山県の観光を学ぶことを目的とする	30	1		○		
	1	前期	専門	○			色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○		
	1	後期	専門	○			色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○		
	1	前期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○		
	1	後期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○		
	1	前期	一般		○		NIBⅠA	新聞を通じ、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○		
	2	前期	一般		○		NIBⅡA	新聞を通じ、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○		
	1	前期	一般		○		表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○		
	2	前期	一般		○		表現力ⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○		
1	後期	一般	○			キャリア支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○				
2	前期	一般	○			キャリア職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○				

現場力・実践力を身に付ける	1	前期	一般	○		データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
	1	後期	一般	○		データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
	2	前期	一般	○		データマーケティングⅡA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		○
	2	後期	専門	○		インターンシップ（海外）ⅡB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10		○
	2	後期	専門	○		インターンシップ（国内）ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	450	10		○
合計							46 科目	2400 単位時間	68 単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 64単位取得 GPA2.0以上 必修科目を取得していること (H), (B) どちらかの選択必修科目を全て取得していること	1 学年の学期区分	2	期
	1 学期の授業期間	15	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



別表2

医療事務

学科

令和3年度 商業実務専門課程 (医療事務学科)														
専門・一般	科目区分	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	医科の知識習得	1	前期	専門	○			医療保険制度 I A	医療保険制度について学ぶ	30	2	○		
		1	前期	専門	○			診療報酬請求(医科)基礎 I A	医療現場での請求事務の流れや意義などについて学ぶ	150	5		○	
		1	後期	専門	○			診療報酬請求(医科)レセプト I A	算定の仕組みによって作成される診療請求書(レセプト)の記入方法を学ぶ	90	3		○	
	調剤の知識習得	1	後期	専門	○			診療報酬請求(調剤)基礎 I A	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	60	2		○	
		1	後期	専門	○			診療報酬請求(調剤)レセプト I A	調剤報酬の算定方法を学ぶ	90	3		○	
	診療情報管理士の知識習得	1	後期	専門	○			医療情報学 I A	診療記録の電子化について学び、ITを活用した医療情報システムの現状を学ぶ	15	1	○		
	医事ソフト・パソコンスキル習得	1	後期	専門	○			医事コンピュータ I A	診療請求書を実際に作成する時に使用する医療事務コンピュータの操作方法を学ぶ	90	3		○	
		1	後期	専門	○			医事コンピュータ I B	診療請求書を実際に作成する時に使用する医療事務コンピュータの操作方法を学ぶ	30	1		○	
	マナー、接遇能力	1	前期	専門	○			秘書実務基礎 I A	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	60	2		○	
		1	後期	専門	○			秘書実務応用 I A	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	60	2		○	
		1	後期	専門	○			患者対応 I A	医療現場での患者対応の基本と医療人としての心構えを学ぶ	15	1	○		
	実務研修	1	前期	専門	○			実習指導 I A	医療機関実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	15	1	○		
		1	後期	専門	○			実習指導 I B	医療機関実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	15	1	○		
		1	後期	専門	○			医療機関実習 I A	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○
	歯科の知識習得	2	前期	専門	○			診療報酬請求(歯科)基礎 II A	歯科医療事務の基本的知識と一般的な点数算定の原理原則を学ぶ	60	2		○	
		2	前期	専門	○			診療報酬請求(歯科)レセプト II A	傷病による治療の流れとそれに伴う点数算定の原則を学ぶ	60	2		○	
	介護の知識習得	2	前期	専門	○			診療報酬請求(介護)基礎 II A	介護報酬請求事務の仕組みを学び、高齢者サービスの実情を学ぶ	60	2		○	
		2	前期	専門	○			診療報酬請求(介護)レセプト II A	介護報酬請求事務の仕組みを学び、高齢者サービスの実情を学ぶ	60	2		○	
	診療情報管理士の知識習得	2	前期	専門	○			医療管理総論 II A	医療制度の成り立ちと医療関連法規や医療提供システムを学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			診療情報管理論 II A	診療録(カルテ)の記載項目の理解と管理体制の仕組みを学ぶ	30	1		○	
		2	後期	専門	○			人体構造・機能論 II A	解剖学・組織学といった人体の基本的仕組みを系統的学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学総論 II A	病気の原因・病態・診断・治療・予防・予後について人体の仕組みから学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			医学用語 II A	診療録(カルテ)に記載される用語を学ぶ	15	1	○		
		2	前期	専門	○			医療概論 II A	医療と医学の歴史や社会的役割を総合的に学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学各論 II A	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	30	2	○		
		2	後期	専門	○			医療統計学 II A	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	15	1	○		
	ドクターズクラークの知識習得	2	前期	専門	○			ドクターズクラーク II A	医師補助としてのカルテ入力方法とポイントを学ぶ	30	2	○		
		2	後期	専門	○			ドクターズクラーク II B	医師補助としてのカルテ入力方法とポイントを学ぶ	60	2		○	
	医事ソフト・パソコンスキル習得	2	前期	専門	○			ICT活用 II A	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける	30	1		○	
		2	後期	専門	○			秘書実務 II A	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
	マナー、接遇能力	2	後期	専門	○			ペン習字 II A	患者様対応に必要な丁寧な文字を書くための方法を学ぶ	30	1		○	
		2	後期	専門	○			異文化理解 II A	多国籍の医療について研究・発表し、課題解決方法について学ぶ	30	1		○	
		2	後期	専門	○			医療機関実習 II A	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
	実務研修	2	前期	専門	○			総合病院研究 II A	総合病院のシステムや業務内容を見学したことを分析し、発表する	45	1			○
		2	後期	専門	○			ビジネスIT技術 I A	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
	医事ソフト・パソコンスキル習得	1	後期	専門	○			ビジネスIT技術 I B	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ICT演習 II A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		2	後期	専門	○			ICT演習 II B	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		1	前期	専門	○			医薬品基礎 I A	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	30	1		○	
	医薬品専攻	1	前期	専門	○			医薬品基礎 I B	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	30	1		○	
1		前期	専門	○			医薬品基礎 I C	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	30	1		○		
1		後期	専門	○			医薬品応用 I A	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	90	3		○		
1		前期	専門	○			POP制作 I A	見やすいPOP広告を作成する技術を身に付ける	30	1		○		
1		前期	専門	○			実習指導 I A	店舗実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	15	1	○			

		2	前期	専門	○	解剖・薬理学ⅡA	人体の基本的な成り立ちと疾病、病態について学ぶ	60	4	○		
		2	前期	専門	○	医薬品安全対策ⅡA	医薬品の安全対策や副作用について学ぶ	30	2	○		
		2	前期	専門	○	国家試験対策ⅡA	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○	
		2	前期	専門	○	国家試験対策ⅡB	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○	
		1	後期	専門	○	店舗実習ⅠA	机上で学んだことを薬局・ドラッグストアにて実践する	360	8			○
		2	後期	専門	○	店舗実習ⅡA	机上で学んだことを薬局・ドラッグストアにて実践する	360	8			○
一般	意欲	1	前期	一般	○	NIBⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
		2	前期	一般	○	NIBⅡA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
		1	後期	一般	○	表現力ⅠA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
		2	後期	一般	○	表現力ⅡA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
		1	後期	一般	○	キャリア支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	2	○		
		2	前期	一般	○	キャリア支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	2	○		
		2	後期	一般	○	キャリア支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	2	○		
		1	前期	一般	○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		1	後期	一般	○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
				2	前期	一般	○	データマーケティングⅡA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1	
合計							60 科目	3135 単位時間	( 109 単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等		
卒業要件：69単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること		1 学年の学期区分	2	期
選択必修科目：「医療保険制度ⅠA」「診療報酬請求（医科）基礎ⅠA」「診療報酬請求（医科）レセプトⅠA」「医療情報学ⅠA」「医事コンピュータⅠA」「医事コンピュータⅠB」「患者対応ⅠA」「実習指導ⅠA」「実習指導ⅠB」「医療機関実習ⅠA」「診療報酬請求（歯科）基礎ⅡA」「診療報酬請求（歯科）レセプトⅡA」「診療報酬請求（介護）基礎ⅡA」「診療報酬請求（介護）レセプトⅡA」「医療管理総論ⅡA」「診療情報管理論ⅡA」「人体構造・機能論ⅡA」「臨床医学総論ⅡA」「医学用語ⅡA」「臨床医学各論ⅡA」「医療統計学ⅡA」「ドクターズクラークⅡA」「ドクターズクラークⅡB」「秘書実務ⅡA」「ペン習字ⅡA」「異文化理解ⅡA」「医療機関実習ⅡA」「総合病院研究ⅡA」		1 学期の授業期間	15	週
または「医薬品基礎ⅠA」「医薬品基礎ⅠB」「医薬品基礎ⅠC」「医薬品応用ⅠA」「POP制作ⅠA」「実習指導ⅠA」「解剖・薬理学ⅡA」「医薬品安全対策ⅡA」「国家試験対策ⅡA」「国家試験対策ⅡB」「店舗実習ⅠA」「店舗実習ⅡA」のいずれかを取得していることとする。				

## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和3年度 商業実務専門課程 (診療情報管理士研究科)														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	基礎医学知識の習得	1	前期	専門	○		臨床医学各論ⅢA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○			
		1	後期	専門	○		臨床医学各論ⅢB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○			
		1	後期	専門		○		試験対策演習ⅢA	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
		1	後期	専門		○		試験対策演習ⅢB	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
		1	前期	専門	○			基礎医学対策ⅢA	基礎医学の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
	専門医学知識の習得	1	前期	専門	○			医療管理各論ⅢA	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
		1	前期	専門	○			医療管理各論ⅢB	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
		1	前期	専門	○			医療統計学ⅢA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立つ様々な統計方法を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			専門分野対策ⅢA	専門分野の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
	コーディング能力の習得	1	前期	専門	○			分類法ⅢA	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	60	2		○	
		1	後期	専門	○			分類法ⅢB	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門	○			国際疾病分類概論ⅢA	国際疾病分類(ICD)の概要やその意義などについて学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門	○			DPC演習ⅢA	DPCの概要やその使用方法について学ぶ	30	1		○	
	接遇、マナーの習得	1	前期	専門		○		秘書実務ⅢA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
	実務研修による現場能力の習得	1	前期	専門	○			実習指導ⅢA	医療機関に入る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	15	1	○		
		1	後期	専門	○			病院実習ⅢA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
1		後期	専門	○			総合病院研究ⅢA	最先端の病院を見学し、研究・発表することにより診療情報管理のしくみや病院経営などについて学ぶ	45	1			○	
一般	1	前期	一般		○		キャリア支援ⅢA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○			
	1	後期	一般		○		キャリア支援ⅢB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○			
合計							18 科目	870 単位時間	( 35 単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：31単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

別表(2-6)

		令和3年度 商業実務専門課程 (インターナショナルビジネス学科)													
専門・一般	科目区分	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	言語運用能力の習得	1	前期	専門	○			JLPT I A	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJGテストを活用し常にレベルを確認する。 Highクラス目標：JLPT N1 Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○		
		1	後期	専門	○			JLPT I B	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60% (合格圏) まで引き上げる。 Highクラス目標：JLPT N1 Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○		
		2	前期	専門	○			JLPT II A	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJGテストを活用し常にレベルを確認する。 Highクラス目標：JLPT N1 Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2			○	
		2	後期	専門	○			JLPT II B	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60% (合格圏) まで引き上げる。 Highクラス目標：JLPT N1 Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2			○	
		1	前期	専門	○			ビジネス日本語 I A	ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解を深め、読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく演習しながら、ビジネス日本語の基礎構築を図る。	60	4		○		
		1	後期	専門	○			ビジネス日本語 I B	I Aで学んだビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をさらに深め、日本語運用能力(4技能)の充実を図るとともに、模擬試験問題や演習問題を通して次年度のビジネス能力検定受験に向けての準備を進める。	60	4		○		
		1	前期	専門	○			ビジネス英会話 I A	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ボキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation(発表)を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力(聴解・読解)を養成する。期中と期末にAchievement Test による Performance測定を行う。	60	2			○	
		1	後期	専門	○			ビジネス英会話 I B	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ボキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation(発表)を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力(聴解・読解)の充実をはかる。 基礎クラス期末目標(L/R) : TOEIC Bridge120点、TOEIC310点。 応用クラス期末目標(L/R) : TOEIC Bridge150点、TOEIC470点。	60	2			○	
		2	前期	専門	○			ビジネス英会話 II A	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習を通して、英語によるコミュニケーションの応用力(聴解・読解・発話)を養成する。期中と期末にAchievement Test による Performance測定を行う。	60	2			○	
		2	後期	専門	○			ビジネス英会話 II B	個々の学生に合わせて、以下の2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習とPresentationを通して、英語によるコミュニケーション応用力(聴解・読解・発話)の充実をはかる。 基礎クラス期末目標(L/R) : TOEIC Bridge140点、TOEIC400点。 応用クラス期末目標(L/R) : TOEIC Bridge170点、TOEIC700点。	60	2			○	
		2	前期	専門	○			ビジネス日本語 II A	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固なものとするともに、日本語運用能力(4技能)の充実をはかり、ビジネス能力検定の7月受験(3級)の準備を進める。	60	4		○		
		2	後期	専門	○			ビジネス日本語 II B	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固・確実なものとするともに、日本語運用能力(4技能)のさらなる充実をはかり、ビジネス能力検定の12月受験(3級・2級)の準備を進める。	60	4		○		
		1	前期	専門		○		日本語演習 I A	日本語コミュニケーションの実際の場面を想定した場面シラバスを中心に、様々な場面での日本語使用に対応できる力をつけるためのトレーニングを行う。	30	1			○	
		2	前期	専門		○		日本語演習 II A	ビジターセッションやインタビュータスクを通して実際に日本人とのコミュニケーションを図るトレーニングを行い、あらゆる場面に対応できる日本語力を養う。	30	1			○	
		2	前期	専門	○			リテールマーケティング(販売士) II A	接客に関する基礎知識、取扱商品に関する専門知識、売場や店舗を管理する能力、経済の動き全体からみた店舗経営等について、講義と用語を押さえた問題や確認テストを通し理解を深める。	60	4		○		
		2	後期	専門	○			リテールマーケティング(販売士) II B	接客に関する基礎知識、取扱商品に関する専門知識、売場や店舗を管理する能力、経済の動き全体からみた店舗経営等について、講義と用語を押さえた問題や確認テストを通し、より実践的な知識と理解を深める。	60	4		○		
		2	前期	専門	○			リテールマーケティング(販売士) 演習 II A	リテールマーケティング(販売士)検定3級合格のため、テキストを用いた試験問題の徹底演習や予習問題の解説を行い、より実践的な知識と理解を深める。定期的に確認テストを行うことで、理解度を認識する。	60	2			○	
		2	後期	専門	○			リテールマーケティング(販売士) 演習 II B	繰り返しテキストの問題や過去問題を行い、正答率とスピードを上げる。用語の確認や予習問題の解説を通して、リテールマーケティング(販売士)検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	60	2			○	
		1	前期	専門		○		マーケティング概論 I A	市場調査や商品開発などマーケティングに関する基本的な考え方や知識を習得する。ケース・スタディの活用や、基礎用語の確認テストを行うことで、より理解を深めマーケティングに対する関心を高める。	30	2		○		
		1	後期	専門		○		マーケティング概論 I B	実際のビジネスケースを使用し、簡単なレポート課題やクイズを行うことで、マーケティング理論の実践方法・活用方法などを学ぶ。また、授業は講義形式ではあるが、グループワークを取り入れ、課題の分析や解決方法の理解を深める。	30	2		○		
1	前期	専門	○			サービス接遇 I A	ペアやグループによるワーク演習を繰り返しながら、サービス接遇についての基本的理解を深め、基本的なサービスで求められる知識を習得し理解を深める。	60	2			○			
1	後期	専門	○			サービス接遇 I B	プレゼンテーションを重視した演習を繰り返しながら、サービス接遇の実践的実務についての知識・理解を深め、サービスの現場で求められる高度な知識とスキルを習得する。	60	2			○			
1	後期	専門	○			マーケティング実践演習 I A	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイなどを用いて学ぶ。	60	2			○			
1	後期	専門	○			マーケティング実践演習 I B	ビッグデータを活用し、課題解決の提案を行う	60	2			○			
2	前期	専門	○			マーケティング実践演習 II A	ビッグデータマーケティングを使用した成果発表	60	2			○			
	実践的コミュニケーション力の習得	2	後期	専門	○		企業実習	企業での実習を通して、現場での経験値を高め、業界・企業・職種を理解を深める。	45	1				○	

知識	1	前期	専門			○ ICT演習 (文書作成) I A	一般的なワープロソフトである「Word」を使用し、文字入力や基本的な文書作成を学ぶ。頻出用語の確認を通し、日本語版のWordの理解を深める。また、制限時間を設けたタイピングテストを行うことで、日本語の文字入力を素早く正確にできるレベルまで引き上げる。	30	1		○
	1	後期	専門			○ ICT演習 (文書作成) I B	「Word」の応用的な操作を学ぶ。画像や図形をはじめとするグラフィック要素の使用や、複合的な操作を身につける。タイピングのテストやゲーム、様々な文書の作成を繰り返し行うことで、ワープロ検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○
	1	前期	専門			○ ICT演習 (データ活用) I A	企業で広く使用されている「Excel」を使用し、表の作成、データ入力、関数について学ぶ。日商PC検定の出題ポイントを押さえた演習問題や、動画を視聴して予習をする反転授業を取り入れることで、より理解度を高めるトレーニングを行う。	30	1		○
	1	後期	専門			○ ICT演習 (データ活用) I B	「Excel」を使用し、グラフや図形の挿入など応用的な操作を学ぶ。理解度に応じた課題に取り組み、実践問題や試験対策問題を繰り返し行うことで、日商PC検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○
	2	前期	専門	○		ICT活用 II A	PowerPointの操作やプレゼンテーションの方法について理解を深める。	60	2		○
	2	後期	専門	○		ICT活用 II B	PowerPointを使用し、様々なテーマに沿ったプレゼンテーションを日本語で行い、内容を分かりやすく正確に伝えるスキルを身につける。	60	2		○
	1	後期	一般			○ 表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○
	2	後期	一般			○ 表現力 II A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○
	1	前期	一般			○ キャリア支援 I A	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、クラスの一員としての意識を持ち、関与できるよう様々な取り組みを行っていく。	30	1		○
	1	後期	一般			○ キャリア支援 I B	将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか、「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、就職に必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	前期	一般			○ キャリア支援 II A	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、様々な活動を通し、他者と協調・協働して行動できる力を身につける。就職に必要な業界知識を知る。	30	1		○
	2	後期	一般			○ キャリア支援 II B	前期に引き続き、様々な活動を通し、他者と協調・協働して行動できる力を身につける。就職に必要な基礎知識を再学習する。	30	1		○
	1	前期	専門			○ 日本語Bridge I A	JLPT N2レベルに引き上げるため、文字・語彙、文法、読解、聴解それぞれのスキルを高めるためのトレーニングを行う。	30	1		○
	1	前期	専門			○ 日本語Bridge I B	JLPT N2レベルに引き上げるため、文字・語彙、文法、読解、聴解それぞれのスキルを高めるためのトレーニングを行う。	30	1		○
	2	後期	専門			○ 日本語Bridge II A	JLPT N2レベルに引き上げるため、文字・語彙、文法、読解、聴解それぞれのスキルを高めるためのトレーニングを行う。	30	1		○
	2	後期	専門			○ 日本語Bridge II B	JLPT N2レベルに引き上げるため、文字・語彙、文法、読解、聴解それぞれのスキルを高めるためのトレーニングを行う。	30	1		○

合計	42 科目	1965 単位時間	79 単位)
----	-------	-----------	--------

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：71単位取得 と	GPA 2.0以上 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和3年度 文化・教養専門課程 (日本語学科1年課程)														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	担当教員	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語の運用基礎能力を習得する	1	前期	専門	○		総合日本語 I A		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。	330	22	○		
		1	後期	専門	○		総合日本語 I B		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	330	22	○		
	日本語学習サポート	1	前期	専門		○	初級作文 I A		総合日本語 I Aと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる	30	2	○		
		1	後期	専門		○	初級作文 I B		総合日本語 I Bと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる	30	2	○		
		1	前期	専門		○	漢字トレーニング I A		基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○		
	異文化適応に必要な日本語能力を習得する。	1	前期	専門		○	生活日本語 I A		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
		1	後期	専門		○	生活日本語 I B		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
	合計									7 科目	810 単位時間	(	54	単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：800時間履修 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表 (授業科目等の概要)

令和3年度 文化・教養専門課程 (日本語学科1年半課程)															
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	担当教員	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	
専門	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	前期	専門	○			聴解ⅡA		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			聴解ⅡB		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門	○			読解ⅡA		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			読解ⅡB		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門			○	作文ⅡA		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	後期	専門			○	作文ⅡB		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	前期	専門			○	会話ⅡA		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける。	30	2	○			
	2	後期	専門			○	会話ⅡB		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける。	30	2	○			
	日本語学習サポート														
		1	後期	専門			○	初級作文ⅠA		総合日本語ⅠAと運動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる。	30	2	○		
		1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠA		基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
		2	前期	専門			○	能力試験対策ⅡA		能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	後期	専門			○	能力試験対策ⅡB		能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA		中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
	基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する														
		1	後期	専門			○	日本事情ⅠA		日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
	生活に適應できる日本語能力を養成する														
	1	後期	専門			○	生活日本語ⅠA		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○			
進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う															
	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
	2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
合計									20 科目	1260 単位時間	( 84 単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1200時間履修	必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	15 週



カリキュラム編成表 (授業科目等の概要)

令和3年度 文化・教養専門課程 (日本語学科2年課程)														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	1	前期	専門	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
日本語の総合的な運用能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	前期	専門	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	後期	専門			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	前期	専門			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を身に付ける	30	2	○			
	2	後期	専門			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を身に付ける	30	2	○			
	日本語学習サポート	1	前期	専門			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる	30	2	○		
		1	後期	専門			○	初級作文ⅠB	総合日本語ⅠBと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる	30	2	○		
1		前期	専門			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○			
1		後期	専門			○	漢字トレーニングⅠB	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○			
2		前期	専門			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
2		後期	専門			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
2		前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○			
基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	前期	専門			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○			
生活に適応できる日本語能力を養成する	1	前期	専門			○	生活日本語ⅠA	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○			
	1	後期	専門			○	生活日本語ⅠB	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○			
進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
	2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
合計							24 科目	1680 単位時間	( 112 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1600時間履修	必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	15 週



# 別表(3-1) 学費

## ■1学年

	高度情報システム学科		情報システム学科		モバイルビジネス学科		ホテル・ブライダル学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金			190,000		190,000		190,000	
授業料			295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費			60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費			60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合計			605,000	415,000	605,000	415,000	605,000	415,000

	医療事務学科		診療情報管理士研究科		インターナショナルビジネス学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	190,000		190,000		190,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費	60,000	60,000	110,000	110,000	60,000	60,000
合計	605,000	415,000	655,000	465,000	605,000	415,000

## ■2学年

	高度情報システム学科		情報システム学科		モバイルビジネス学科		ホテル・ブライダル学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金								
授業料			295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費			60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費			110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
合計			465,000	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000

	医療事務学科		インターナショナルビジネス学科	
	前期	後期	前期	後期
入学金				
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000
合計	465,000	465,000	465,000	465,000

## ■3学年

	高度情報システム学科	
	前期	後期
入学金		
授業料		
施設設備費		
演習充実費		
合計		

## ■4学年

	高度情報システム学科	
	前期	後期
入学金		
授業料	280,000	280,000
施設設備費	60,000	60,000
演習充実費	110,000	110,000
合計	450,000	450,000

## ★日本語学科 1学年

	1年課程		1年半課程		2年課程	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	190,000			190,000	190,000	
授業料	320,000	320,000		240,000	240,000	240,000
合計	510,000	320,000		430,000	430,000	240,000

※諸経費として入学時110,000円、その後毎期40,000円が必要です。

## 日本語学科 2学年

	1年半課程及び2年課程	
	前期	後期
入学金		
授業料	240,000	240,000
合計	240,000	240,000

※諸経費として毎期40,000円が必要です。

別表(3-2)  
聴講生学費

聴講生聴講料(1単位当たり)

対象学科	聴講料
全 学 科	17,000円
全学科(外国人聴講生)	9,000円